

NIE特集

Newspaper In Education



中津山小

学校名 登米市立中津山小学校 校長 海野 達兄
所在地 登米市米山町中津山城内前4 児童 196人
電話 0220(55)2506

うきうきキャンパス

ロボット
2年・戸部光希

スーパーロボット
1年・石垣泰照

おなかいっぱい食べたいな
3年・山崎珠那

木の上のミニロウガタ
4年・中山高介

けんぱんハートワを演奏する友達
5年・千原葉菜

ピアノと音符のパレード
6年・遠藤理恵

郷土の横綱 丸山権太左衛門を探れ



俳句作る風流な面も

丸山権太左衛門は、登米市米山町の中津山地区に生まれた。本名は芳賀銀太夫。小さいころから力が強かったと芳賀さんご兄弟は言います。7、8歳のころ、母親の手伝いで、細に生えてきている笹竹をひよひよ、ひよひと雑草を抜くように手で抜いたというエピソードがあります。16歳のときに、仙台の殿様のお供で江戸に渡りまして、道中苦労したことから、そのまま江戸で力士になる道を選びました。

丸山権太左衛門という名はしこ名です。「生まれつき頭にくぶがあり、丸い山のように盛り上がっていた」と話してくれました。

丸山権太左衛門は、身長197センチ、体重166キログラムに達する大男で、36歳で横綱となり、大力士です。たまたま強いというだけではなく、母親や人の手伝いができる優しさをもっていたこと、文化を好んでいたこと、人間性を知ることができ、ますます魅力を感じました。

文・千原葉のり、佐藤聖文、菅原理恵、須田利那、矢内匡(6年)



道の駅・米山アグリパーク前の丸山像

ごみの投棄しないで

全校クリーン作戦をしていて気になるのは、かさや長い棒、ガラスのかけらなどがたくさん落ちていて、それらも草のしげみや、ほりの中などで見つけることが多い。全部拾ってきれいにしたいところだが、あまりにも危険で取れないものもある。

「いったいだれがこんなものを捨てたのだろう」と、思う。クリーン作戦は毎年行っているが、「ごみは必ず出さなくてはならない」というルールを徹底して、地域がきれいになってうれしいうれしい気持ちと、どうしてごみを捨てる人がいるのだろうかという残念な気持ちで複雑だ。

「ごみを自分できちんと処分するというマナーを守ってほしい。」

(6年・沢口原太)

元気よくあいさつを

秋の交通安全運動が、今年も9月に行われた。そして、警察の方、交通指導隊の方々、地域の方々が通学路の所々に立ち、ぼくたちの通学を見守ってくれた。

そのとき、だれもが口にする「おはようございます」のあいさつがひびき合った。あいさつをする、自分も相手も気持ちが良い。でも、中にははずかしがってあいさつをしない人もいた。あいさつをしない人は、はずかしいと思わない。

中津山にたくさんいるあいさつがひびきわたるといいと思う。相手の気持ちを思い、これからは元気な声であいさつをしたい。

(6年・佐々木正京)

言い隊

全校クリーン作戦をしていて気になるのは、かさや長い棒、ガラスのかけらなどがたくさん落ちていて、それらも草のしげみや、ほりの中などで見つけることが多い。全部拾ってきれいにしたいところだが、あまりにも危険で取れないものもある。

「いったいだれがこんなものを捨てたのだろう」と、思う。クリーン作戦は毎年行っているが、「ごみは必ず出さなくてはならない」というルールを徹底して、地域がきれいになってうれしいうれしい気持ちと、どうしてごみを捨てる人がいるのだろうかという残念な気持ちで複雑だ。

「ごみを自分できちんと処分するというマナーを守ってほしい。」

(6年・沢口原太)

全校クリーン作戦

感謝の声にやりがい

6月に行われた全校クリーン作戦

中津山小では、地区をきれいにしたいと思う気持ちから、毎年春と秋、児童会が中心となり、全校でクリーン作戦を行っています。

地区ごとに担当場所を決めます。道路や公民館、神社などを回り、空き缶や紙くず、たばこの吸い殻などを拾い集めます。

クリーン作戦を終えた後は、とても地域がきれいになり、地域の方がとても喜んでくださり、感謝されるのでやりがいを感ずります。この行事を毎年続けて、自分たちの住む地域をもっともっときれいにしたいと思っています。

文・菅原理恵、福泉虎弥太、遊佐隼虎、中山果歩(6年)

編集後記

「どきどき小学生」で丸山権太左衛門について調べました。取材や原稿を書くことの利便、矢野、佐々木、福泉、たが、知れば知るほど江戸時代のおもしろさを感じました。地域のすばらしい人の代名詞に親しみをもてたことに驚きました。そして、この取材して記事を書くことに、私たちの住む中津山にこのよみがえり、充実感でいっぱいになりました。このよみがえり、充実感でいっぱいになりました。このよみがえり、充実感でいっぱいになりました。

編集長 友田菜月(6年)

△指導教諭△大内理恵、鹿野正美

毎月第2・4火曜日発行

これまでの掲載校の紙面を河北新報のホームページ(KOLNET)で見ることができます。

東北大学 Tohoku University

シルベスターコンサート

2009-2010

2009年12.31

21:30開場
22:30開演
(24:45終演予定)

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/ 川内萩ホール 休館中

入場料3席6,500円 A席5,500円 B席4,500円 学生席3,000円 ※東大生は入場料不要

プレイガイド：三越仙台店、8-6野原書店仙台店、河北チケットセンター、河北チケットセンター(コード336-258)、ローソン チケット(コード24521)

お問い合わせ：チケットのお申し込み
河北チケットセンター 022-211-1189(平日 10時~17時)

◎東北大学学生会(学生会員)の方は割引でチケットを購入できます。
お申込み・お問合せ：東北大学学生会 022-217-5059
TEL: 022-217-5059

主催/東北大学 河北新報社 72C東北放送
後援/宮城県 仙台市 (財)仙台市市民文化事業団

好評発売中

プログラム
ビゼー「カルメン」第一幕への前奏曲
ストラヴィンスキー「火の鳥」組曲
モーツァルト「フィガロの結婚」より「序曲」「もう飛ぶまいぞこの蝶々」
「シュトラウスII:「こうもり」より「チャルダッシュ」
ヴェルディ「リゴレット」より「女心の歌」
ヴェルディ「椿姫」より「乾杯の歌」、「プロバンスの海と陸」
ロジャース&ハマースタイン「サウンド・オブ・ミュージック」より「ハチャドリアン」「仮面舞踏会」より「ワルツ」
ブッチャーニ「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」

※変更の場合がございます。

河北Books クリスマスに贈りたい

忘却の街・仙台

昭和40年頃、そして今

吉田兼彦・淡彩画集

記憶の中の仙台

山形孝夫監修

復刻版

パンドラの匣 太宰治著

1945年10月から46年1月に河北新報に連載された太宰治の新聞小説を当時出版された単行本をほぼ当時のまま復刻した特製箱入り。

ことわざは民族の知恵の結晶。「言葉の作品100篇を通して、それぞれの民族の心に触れてみませんか。仙台市に在住の西家山田大輔さんの絵を全編に。

昭和40年頃の仙台の街と現在の光景。見比べるとその違いに驚くことでしょう。仙台市中心部から郊外まで105カ所を掲載。街の歴史や由来、名所なども紹介しています。

街に溶け込んでいた古い建物が、ある日気がつくと消えていた。水彩画に残された懐かしい風景が、あの日の記憶をよみがえらせます。

世界ことわざの泉 山形孝夫監修

四六判/224ページ 定価1,680円(税込)

パンドラの匣 B6判/232ページ 定価1,050円(税込)

忘却の街・仙台 A5判/232ページ 定価1,890円(税込)

記憶の中の仙台 B5判変形/96ページ 定価1,680円(税込)

河北新報出版センター 電話 022-214-3811 FAX 022-227-7666
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目14-35 河北ビル3階 http://www.kahoku-ss.co.jp/